

# 駒野社長「今後に責任」

## とがち製菓に農水大臣賞

【東京】2018年度の「輸出に取り組む優良事業者」表彰式が15日、都内のイイノホールで開かれ、最高位の農林水産大臣賞を受賞した、とがち製菓（中札内村）の駒野裕之社長に、吉川貴盛農水相から表彰状が手渡された。駒野社長は、ハラル対応や流通ノウハウを生かした適正販売価格の実現など、同社の取り組み事例を発表した。

GFP（農水省が推進する日本の農林水産物の輸出プロジェクト）のフォーラ



吉川大臣から賞状を受け取る駒野社長

ムとして実施。関係者ら280人が出席した。

とがち製菓など6事業者に農水大臣賞、11事業者に食料産業局長賞を授与。講評でとがち製菓は、強みを持つ冷凍流通や解凍技術が高く評価された。製菓開発力を武器にハラル対応の和菓子で輸出を拡大、「和菓子が世界市場で認知される大きな道筋を開いた」とも紹介された。

駒野社長は事例紹介に臨み、帯広商工会議所やJ1

CA（国際協力機構）の支援・協力で感謝の意を示した。大臣賞受賞事業者によるパネルディスカッションにもパネラー参加した。

駒野社長は「今あるベイスを基に、ハラルをクリアしながらどのようにして十勝・北海道のものを絡ませて輸出を促進し発展させていくか。大きな賞を頂いたと改めて感謝するとともに、今後に向けた責任も感じていく」と気持ちを新たにしていた。（植木康則）